

「新技術活用工事表彰」の取組



▲ 圏央道山崎菅谷地区地盤改良工事の取組（キムラ工業（株））

システムを用いたICT測量や施工により、ヒューマンエラー等もなく、作業効率や品質・出来形管理の向上に努めました。また、作業員と建設機械の接触事故や、工事出入り口等の一般通行者との安全管理についても、ICT技術で改善し、安全性向上等にも取り組みました。



▲ 圏央道生子地区地盤改良その2工事の取組（キムラ工業（株））

ICT・新技術を用いた地盤改良工事を展開し、リアルタイムでの施工管理から作業効率、品質・出来形管理などの向上に努めました。また、盗難・防犯対策も現場監視システムを用いて実施するなど、現場の安全対策にも取り組みました。



▲ R1国道4号東埼玉道路中川仮橋設置工事の取組（サイレキ建設工業（株））

新技術を活用し、ボルトマーキング作業について大幅な効率アップを図ったり、現場の安全対策等にも取り組みました。また、環境への配慮として近隣河川への重機油の流出に備えるなど、積極的な新技術活用に取り組みました。